


令和2年度 大館市立花岡小学校 学校評価書(前期)・年度)

A 学校教育目標

気概をもってよりよく生きる子どもを育てる		
めざす児童像	人を大切にする子 学びを楽しみ深める子 チャレンジを楽しむ子	

B 本年度の重点目標

◎ 課題対応能力の育成

C 学校経営の特徴

◇課題対応能力を育成する学校行事, 児童会活動(チャレンジ活動) ◇明るく楽しい学級づくり ◇チャレンジ授業とベーシック授業 ◇開かれた学校づくり
--



花小まつり～運動会編～



家庭科地域ボランティア



読み聞かせ ミラクルバナナ



花岡版子どもハローワーク

D 評価

自己評価Aと外部評価の区分	きわめて良好	自己評価Bの標準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 人を大切にする子どもの育成

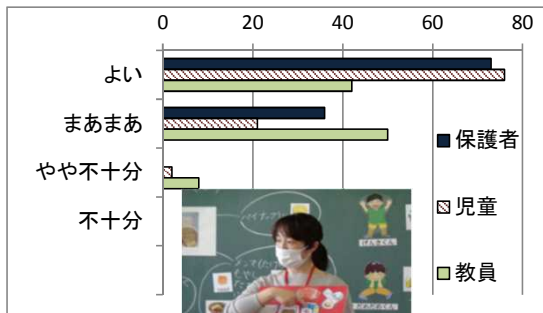
健康な心と体をつくらうとともに、規範意識をもって自他の心や人間関係等を大切にす人間尊重の精神を育んでいる。	自己評価A 学校関係者評価		学校関係者評価委員のコメント
	前期	年度	
	おおむね良好	良好	休み時間を含め、体力づくりがよく行われている。保護者、児童、教員のどのアンケート結果を見てもそろってよい結果となっている。これを後期も継続して実践してほしい。
自己評価の改善概要と	【前期(→年度)】 心身の健康づくりに関しては、児童、保護者共に学校からの呼びかけや取組を前向きに受け止め、健康な生活を送ろうとしていることが分かる。しかし、すべての児童が実践できているとは言えない。メディアに関する実態把握や家庭への呼びかけをさらに強め、家庭での意識が大切であることを伝えていきたい。学級づくりを基盤とした集団の一員としての自覚に関しては、児童・保護者共に評価が高い。今後とも児童一人一人により目を向け、学級の一員として自信をもって活動できるように指導にあたり、保護者と共に児童の成長を喜び、伸ばしていきたい。		
	【年度(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 心身の健康づくり	(1)生活習慣向上に向けた実践	生活習慣指導、食育指導、保健・健康教育等	3	
	(2)継続的な体力づくりの取組と体力の向上	体力検定・なわとび運動等多様な遊びの奨励		
	(3)集団の一員としての自覚ある言動	縦割り班活動・委員会活動・学校行事等での活動		
2 人間尊重の精神	(4)明るさ・活力・自他を大切にす学級づくり	学級指導・学級活動の充実 こども哲学	3	

【1に関するデータ】

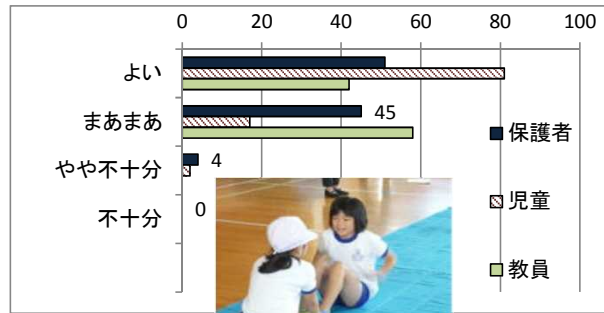
アンケート回答者 保護者49名、児童4、5、6年生42名、教職員12名

○生活習慣向上に向けた取組を行っているか。
(平均値 保護者3.73 児童3.55 教員3.33)



栄養教諭による食育授業

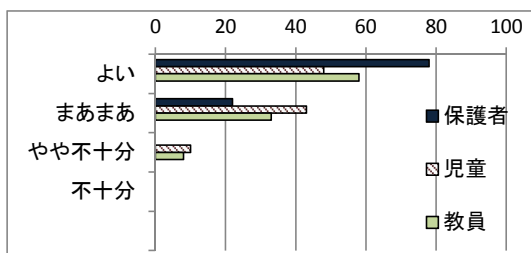
○継続的な体力作りに努めているか。
(平均値 保護者3.47 児童3.38 教員3.42)



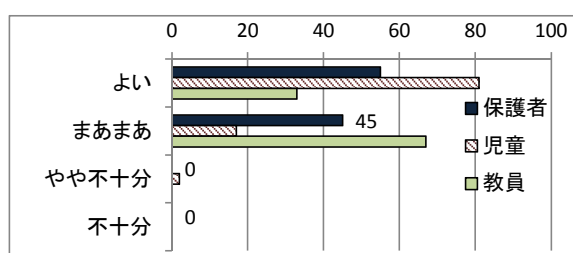
縦割り班での体力検定

【2に関するデータ】

○集団の一員としての自覚ある言動をしているか。
(平均値 保護者3.78 児童3.79 教員3.50)



○明るく活力ある学級づくりが行われているか。
(平均値 保護者3.55 児童3.36 教員3.33)



Ⅱ 学びを楽しみ、深める子どもの育成

内発的動機付けに支えられた学びを楽しむとともに、互いの考えを共有したり多角的に考えたりするなど、学びを深める指導を行っている。	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	おおむね良好	「やや不十分」「不十分」の数が減るように取り組んでほしい。読書活動は大変よく行われているので継続してほしい。 コロナ禍でやりたい授業ができずにいることだろう。今後の学び合いに期待する。
	年度		

自己評価の改善概要と	【前期(→年度)】 基礎・基本の徹底や学び合いの充実に関しては、児童、保護者のアンケート結果と比較して、教職員のアンケート結果が落ち込んでいる。コロナ対策による休校のため、学習の遅れはないものの、ゆとりをもった指導ができなかったことが要因である。年度に向けて、付けたい力を見据え、計画的に指導していくと共に、学び合いの場を積極的にコーディネートしていきたい。読書活動の充実に関しては、毎週末の花矢図書館による見聞かせ、毎月1回のミラクルバナナさんによる読みきかせの2本立てが定着しており、児童も心待ちにしている。図書室の運営と併せて今後も充実させていきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 基礎・基本の定着	(5)基本的な学習習慣の定着	「学習の約束」「学び方」の徹底	3	
	(6)基礎・基本の徹底	基本を徹底する授業		
4 学びの多面化・深化	(7)多様な学びの保障	主体的に学び合う授業	3	
	(8)読書活動の充実	図書館まつり、各種読み聞かせ、読書運動等		

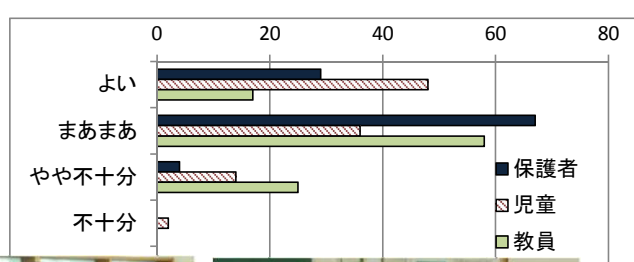
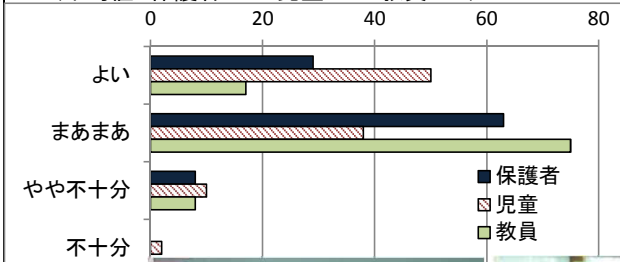
【3に関するデータ】

○基本的な学習習慣が定着しているか。

○計算、漢字、読み書きなど、学習の基本が身に付いているか。

(平均値 保護者3.20 児童3.29 教員3.08)

(平均値 保護者3.24 児童3.50 教員2.92)



委員会児童



花矢図書館



ミラクルバナナ

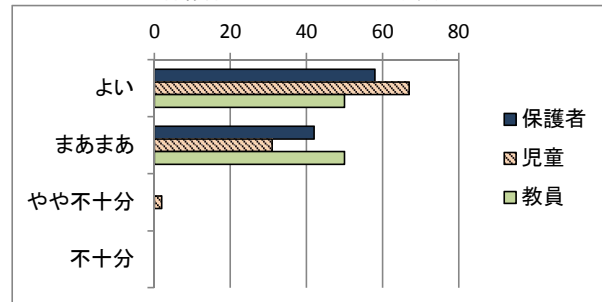
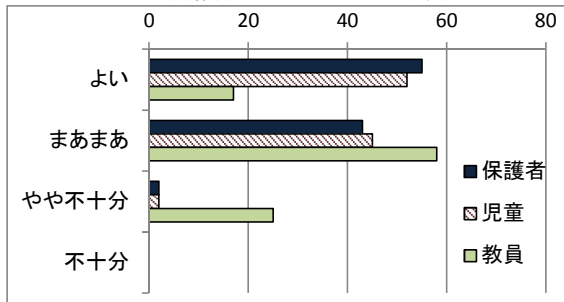
【4に関するデータ】

○学び合いの充実が図られているか。

○読書活動が推進されているか。

(平均値 保護者3.53 児童3.64 教員2.92)

(平均値 保護者3.58 児童3.57 教員3.50)



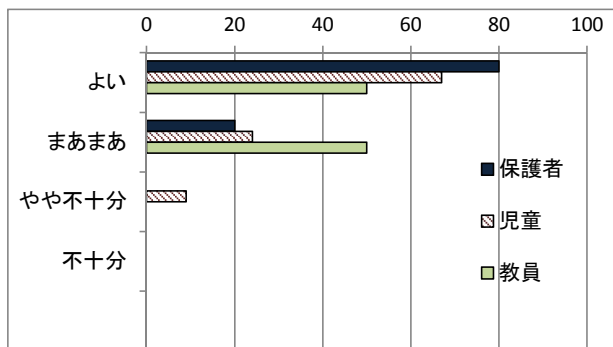
Ⅲ チャレンジを楽しむ子どもの育成

	自己評価A 学校関係者評価		学校関係者評価委員のコメント
	前期	年度	
挑戦意欲をもち、連携する力と創造性を発揮しながら主体的に活動する子どもを育てている。	おおむね良好	良好	「花小といえばチャレンジ」が定着している。子どもたちに尋ねると「チャレンジ」とすぐに戻ってくる。浸透していることが分かる。
自己評価の改善概要と	【前期(→年度)】 アンケートでは、児童・保護者ともに勇気をもってつながり、チャレンジしていることへの評価が高い。全教育活動を「勇気」「つながり」「チャレンジ」を合い言葉に進めてきた成果であると考えられる。コロナ禍でも、できることを考えながら、各学年の実態に合わせてチャレンジしてきた。6年生は入学したときから、チャレンジ活動を経験してきたため、チャレンジすることが当たり前のように感じており、花岡小の良き伝統になってきているように感じる。2学期は学習発表会や花岡チャレンジ活動など、仲間と協力して活動する機会がより多くなる。教師はポイントを見極めて介入するとともに、多くの賞賛の声掛けをして、よりいっそう児童の自己有用感を高めていく。		
	【年度(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 チャレンジ精神の高揚	(9)チャレンジ活動(学年・全校)の推進と充実	課題対応能力育成のための各学年及び全校の実践	4	
	(10)創造性・連携する力の向上	創造性・連帯感を向上させる各種ミーティング 学級係・委員会活動等の児童活動	3	

【5に関するデータ】

○いろいろな活動に、勇気をもってつながり、チャレンジしているか。
(平均値 保護者3.80 児童3.64 教員3.50)



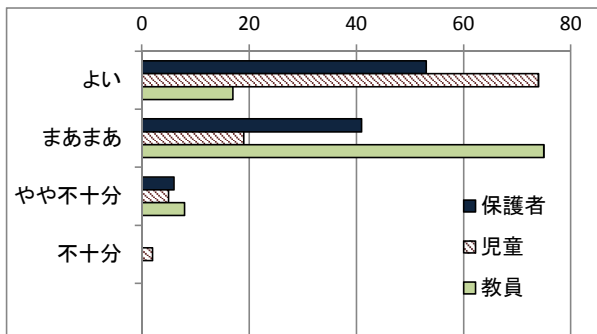
【保護者アンケート自由記述より】

子どもたちは、学校行事や活動に急な変更等があっても、臨機応変に、活動を前向きに、全力でがんばっているなど感心しております。先生方、コロナ感染症対策をしっかりしていただきありがとうございます。



活動後の振り返りを次へのステップに

○いろいろな行事で、自己有用感やよさの発見、発揮できているか。
(平均値 保護者3.47 児童3.64 教員3.08)



上級生が下級生によさこいの伝授



手本を見せてよさこいの伝授

IV 保護者・地域との連携

学校の取組がわかりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	自己評価A 学校関係者評価		学校関係者評価委員のコメント
	前期	良好	良好
年度			

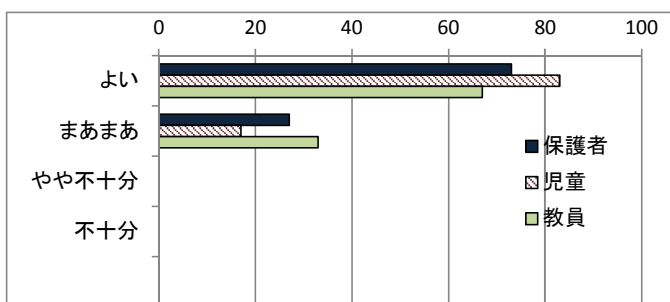
【前期(→年度)】
 学校から出される各種おたよりは、受け取った側の立場になって考え、発行することができた。保護者、児童からも充実していると肯定的評価が9割を超えている。ホームページやブログの更新については、学校での子どもの様子が伝わり、笑顔が見られてうれしいというコメントもあり、楽しみにしている保護者がいると分かった。今後も継続していきたい。地域との連携に関しては、クラブ活動や学校行事があるときに、地域の方に来ていただくことで、子どもたち自身が学校と地域とのつながりを感じている。2年目の花岡版子どもハローワークでは、子どもたちが働くことの大変さや楽しさを体験できた。地域の受け入れに感謝している。

自己評価の改善概要と

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 情報の受発信	(11)各種たより等の充実と学校開放	学校報・学年だより等での発信 HPの定期的な更新 学校開放や保護者アンケートでの受信	4	
7 地域との連携	(12)地域に対する愛着心や誇りを高める実践	学習・クラブでの人材活用 花小レポリューション、地域探検、職場体験等	4	

【6に関するデータ】

○学校報、学年だより、各種のおたよりは充実しているか。
 (平均値 保護者3.73 児童3.69 教員3.67)



【保護者アンケート自由記述より】

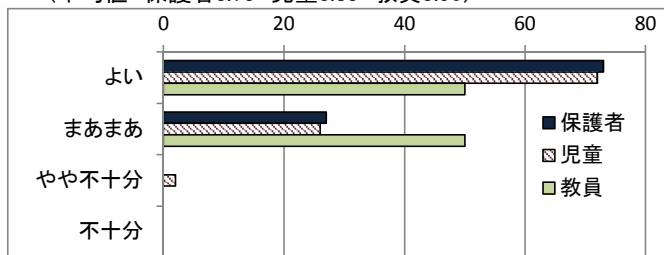
他校と比べてHPが充実している。行事の写真だけではなくブログを見ることで学校での様子が分かる。普段見ることがない授業風景や子どもたちの笑顔が見られてうれしい。今後も続けてほしい。



地域の方を先生に、クラブ活動

【7に関するデータ】

○地域人材の活用、愛着心や誇りを高める実践がなされているか。
 (平均値 保護者3.73 児童3.83 教員3.50)



花岡版子どもハローワーク(花岡保育所・花矢図書館)



家庭科地域ボランティア